

川島大橋の復旧について

国土交通省 中部地方整備局

岐阜国道事務所

令和3年11月26日

1. 川島大橋の災害復旧事業
2. 歩行者用の仮橋設置
3. 川島大橋の撤去
4. 川島大橋の発注工事

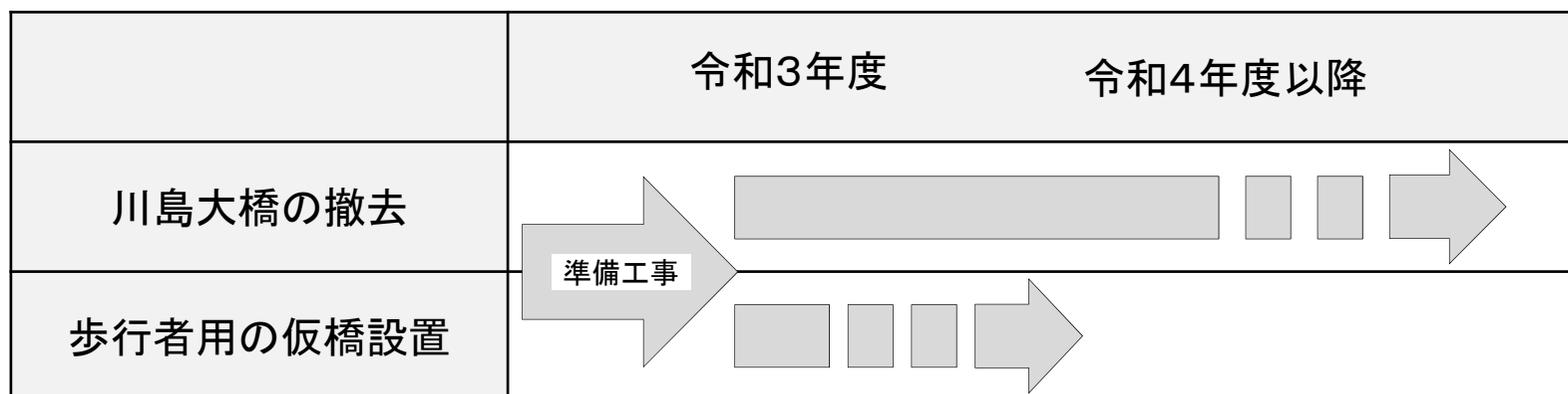
川島大橋の災害復旧事業

- 川島大橋は、令和3年5月の豪雨によりP4橋脚が傾斜等の被害が発生し、5月28日から通行止めを実施しています。
- 9月3日に国が災害復旧事業を代行することが決定され、被災した橋梁の撤去、歩行者用の仮橋、本復旧(新橋設置)を行うこととなりました。



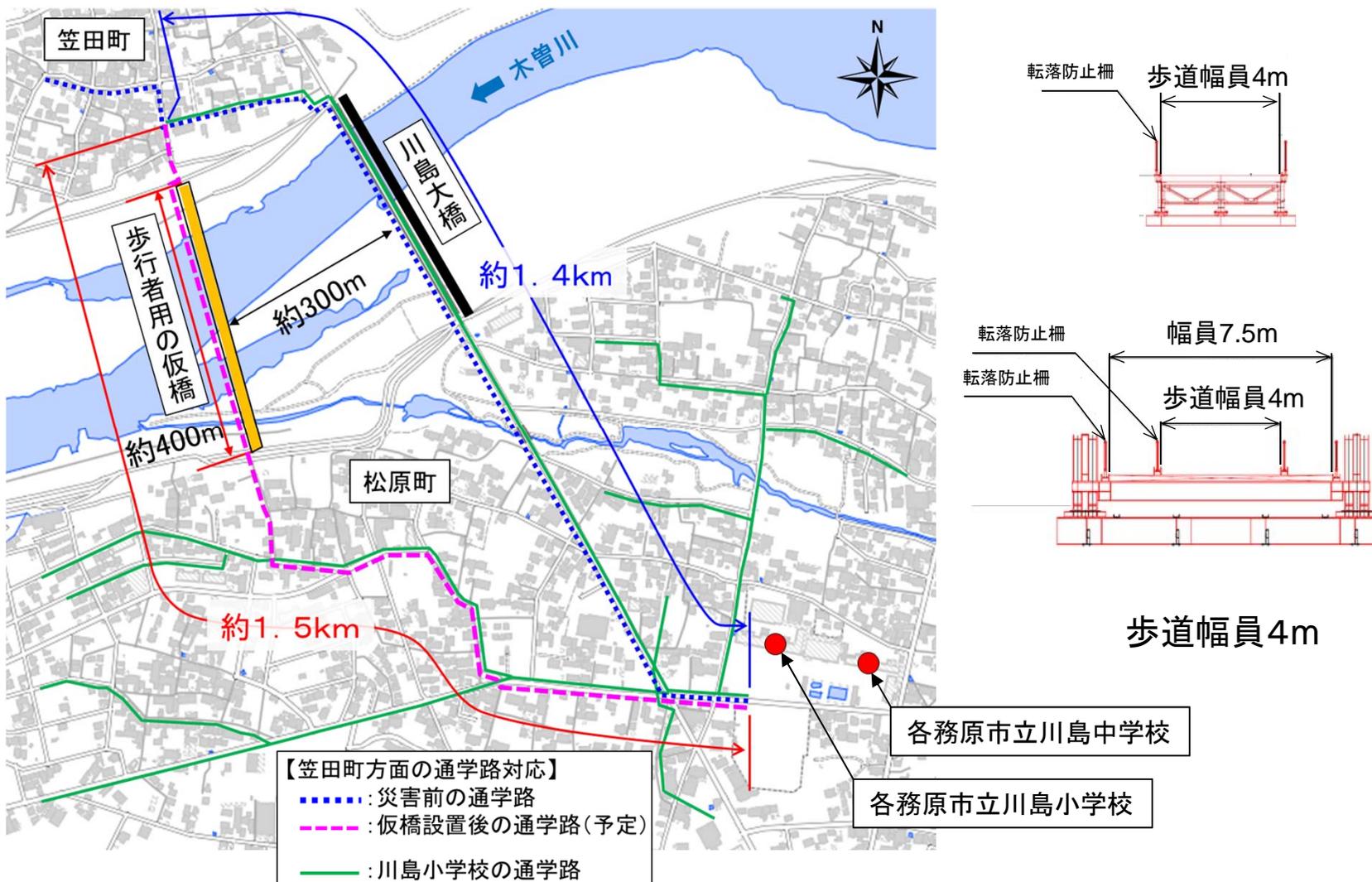
- 復旧にあたっては、現在の川島大橋を全て撤去(橋桁・橋台・橋脚)するとともに、歩行者用の仮橋の設置を行います。
- また、川島大橋の新橋は、必要な検討・調整・手続きを踏まえて設置することになります。新たな橋梁が確定し工事を行う際は、改めて説明を行います。

川島大橋の撤去、歩行者用の仮橋設置の予定



歩行者用の仮橋設置(通学路)

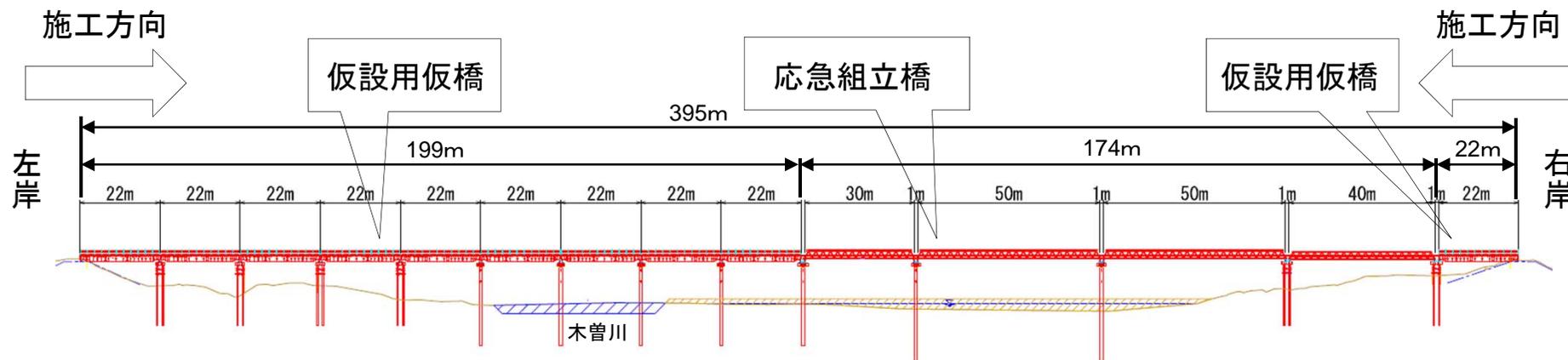
- 通学路である川島大橋の迂回として、歩行者用の仮橋を設置します。
- 位置は現橋梁の下流約300m、橋の長さは約400m、橋の通行幅は4mです。
- 元々の通学路を利用していた時(約1.4km)に比べ、約100mほど長くなります。



歩行者用の仮橋設置(施工手順)

(R3.11.26説明会資料)

- 左岸側は仮設用仮橋を設置し、滯筋のある右岸側は応急組立橋を設置します。
- 施工は両岸から同時に行い、早期完成を目指します。



歩行者用の仮橋設置位置イメージ

歩行者用の仮橋設置(応急組立橋の概要)

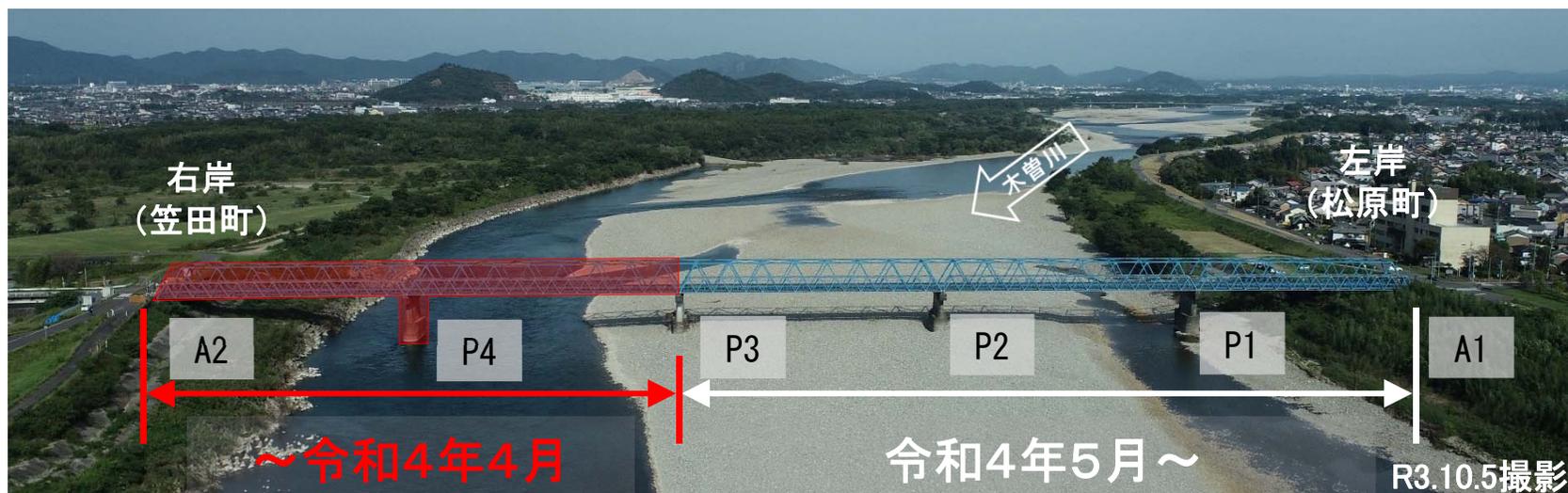
- 橋や道路が流され、緊急に交通路を確保する必要がある場合に、組立式の橋を短期間で架設できます。
- 今回、国土交通省が保有している応急組立橋を活用します。



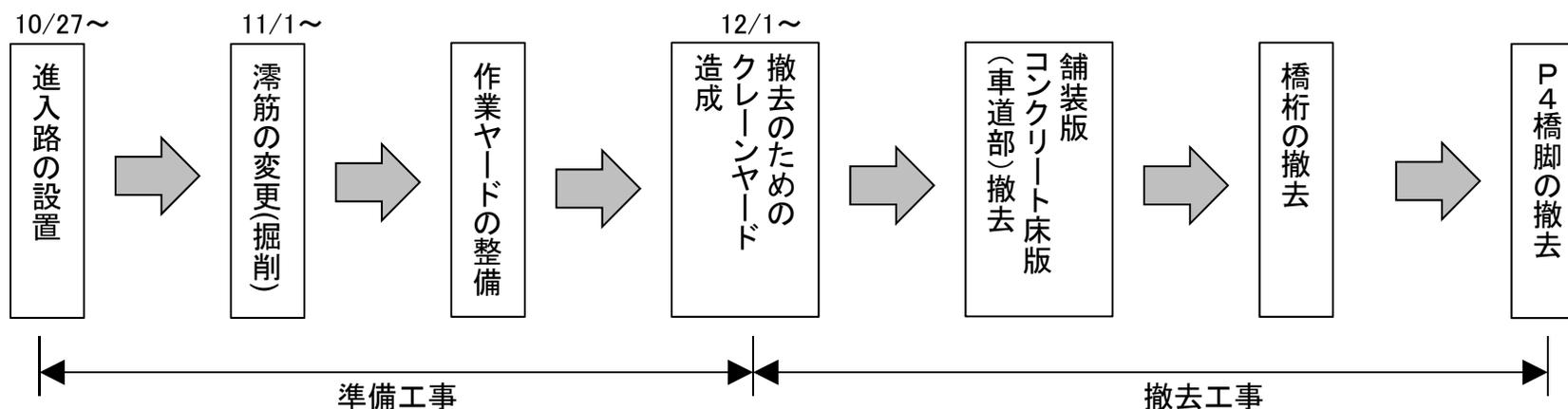
応急組立橋

川島大橋の撤去(P3~A2間)

- 最初に大きく変形したP3からA2間の橋桁および傾いたP4橋脚の撤去に着手します。
- その後、A1からP3間の橋桁、橋台(A1, A2)および橋脚(P1~P3)の撤去を行います。
- 12月1日より、本格的に川島大橋の撤去工事に着手します。



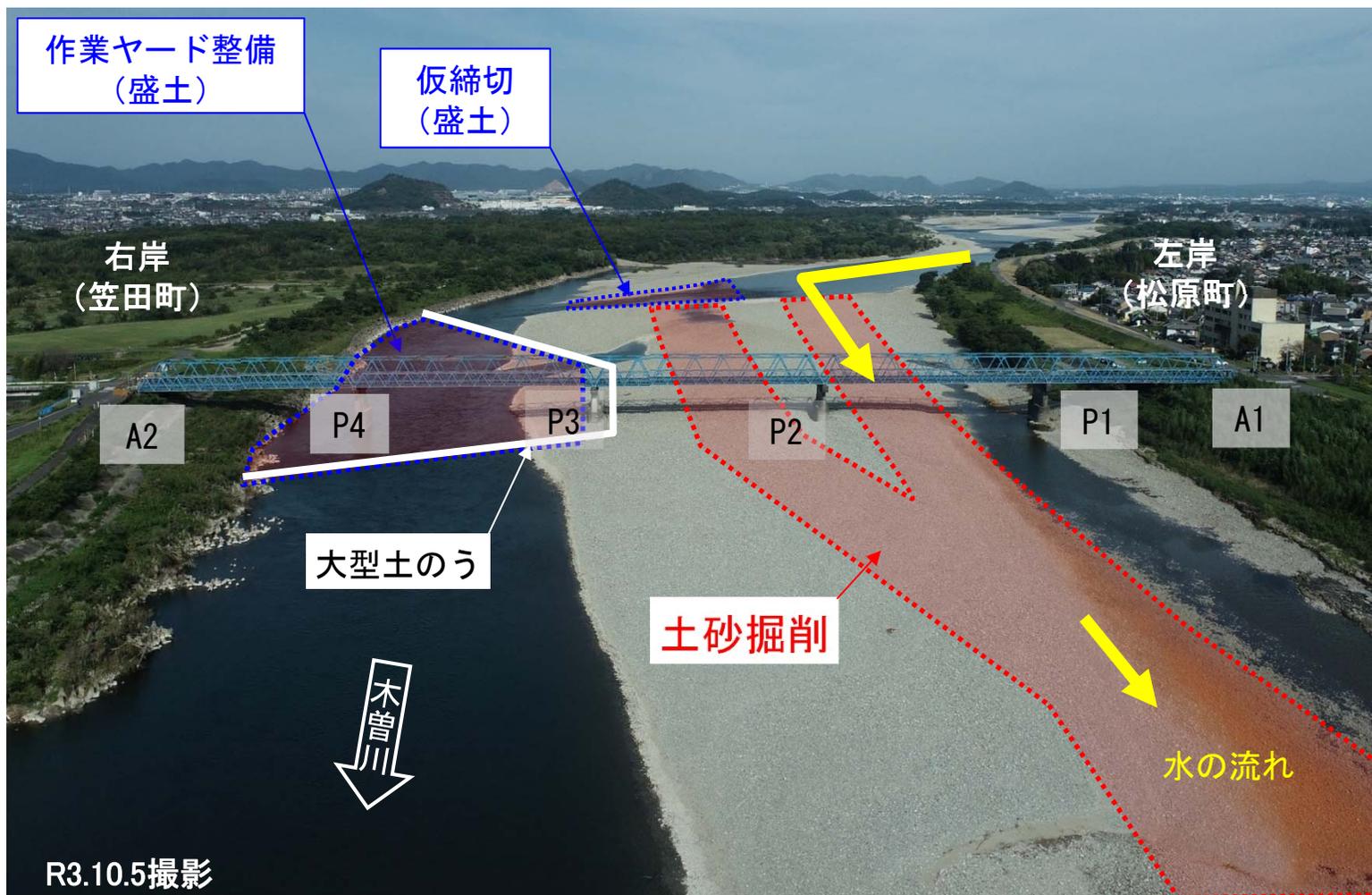
<P3~A2の撤去手順>



川島大橋の撤去(準備工事)

(R3.11.26説明会資料)

- 本格工事の着手に向けて、11月1日から準備工事を実施しております。
- P3からA2間の滯筋を、P1からP2間に変更します。
- P3からA2間の橋桁およびP4橋脚を撤去するため、作業ヤードの整備(盛土)を行います。
- 大型クレーンなどが動く範囲を、大型土のうで締め切ります。

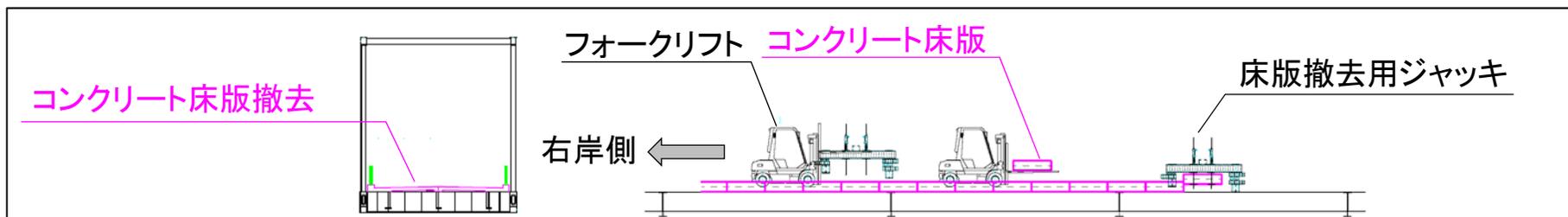


川島大橋の撤去(施工手順)

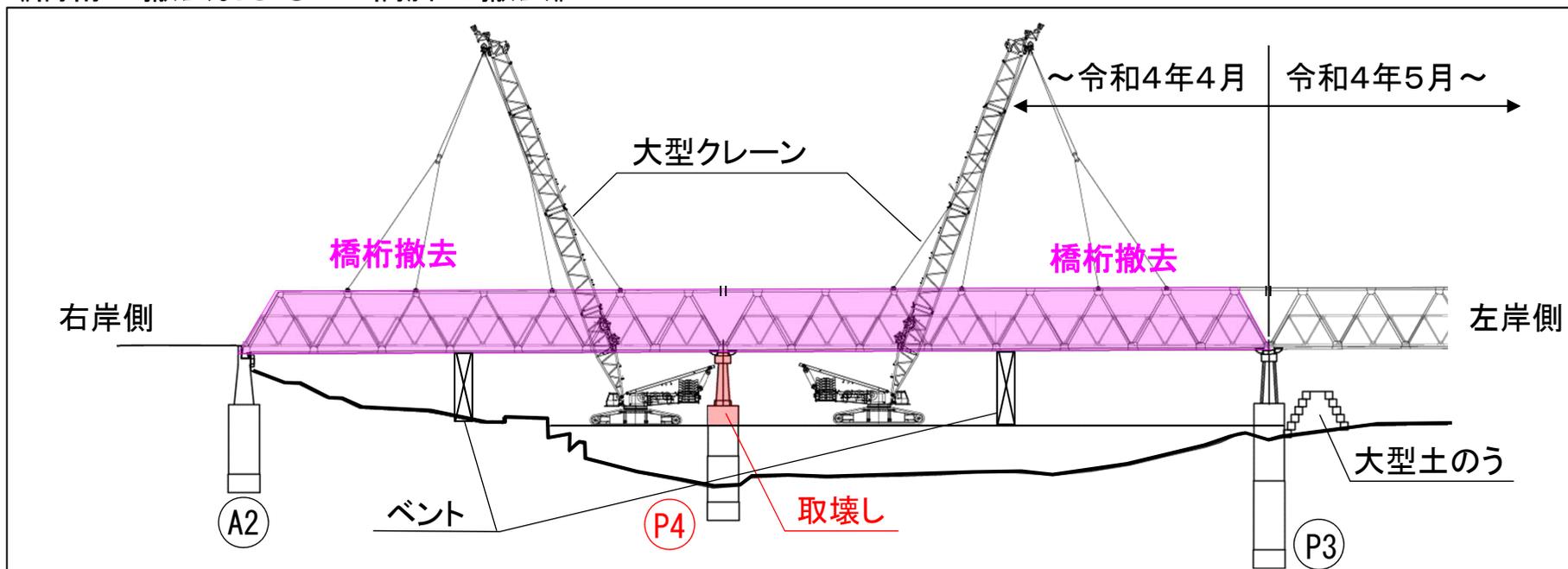
(R3.11.26説明会資料)

- 橋梁をベントで支えた上で、路面上からコンクリートカッターを使用し、コンクリート床版を切断後、フォークリフト等によりコンクリート床版を撤去します。
- 河川内に大型クレーンを設置し、橋桁を撤去します。
- 大型ブレーカにより、P4橋脚の取り壊しを行います。

《橋桁の床版撤去》



《橋桁の撤去およびP4橋脚の撤去》



○川島大橋の復旧に関する工事は、3工事契約しています。
 ○作業時間帯は、午前6時から午後6時まで、土・日曜日・祝日も工事を行います。なお、荒天の場合、工事は中止します。

《令和3年度工事一覧表》

令和3年11月19日時点

区分	工事内容	施工者	工事名
①	進入路の設置、滯筋の変更、作業ヤードの整備、大型土嚢の設置等	株式会社市川工務店	一般県道松原芋島線 川島大橋応急対策工事
②	床版、車道桁および歩道桁の撤去等	三井住友建設鉄構 エンジニアリング株式会社	一般県道松原芋島線 川島大橋鋼上部撤去工事
③	歩行者用の仮橋の設置	市川・日東地域 維持型建設共同企業体	一般県道松原芋島線 川島大橋仮設橋(歩道)設置工事
④	P4橋脚の撤去	決まり次第お知らせします。	P4橋脚の撤去工事(仮称)